
最凶最悪の魔闘家

坂田火魯志

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最凶最悪の魔闘家

【Zマーク】

Z7502S

【作者名】

坂田火魯志

【あらすじ】

柔道は我が国が起源だといつある国の主張。その主張について考えてみると恐ろしいことがわかつた。その恐ろしいこととは何か。Smile Japan企画作品です。実際にネットであつた書き込みから書いた作品です。

最凶最悪の魔闘家

最近ネットではだ。ある国の主張としてこんなことが言われていた。

「柔道の起源は我が国である」

その国は何かあるとその起源は自分の国にあると主張するのが癖になっている。どうにも非常に変わった癖であるがそれでもだ。こうした主張をするのが彼等の常になっていた。そしてその対象は主にだ。

日本に対してであつた。柔道だけでなく剣道や寿司や折り紙や盆栽、とにかく何でもかんでも起源は我が国にあると主張するのだ。拳句にはソメイヨシノまで起源が我が国にあると主張する。とにかく変わつた癖である。

そしてその彼等がだ。いつも言つのである。柔道の起源は自分の国にあるとである。こう主張するのである。

そしてだ。そのルーツについても説明する。そのルーツとはだ。

「柔道の起源は我々にあつたが豊臣秀吉が持ち去つたのだ」

とにかくこの人物の名前がやたら出て来るのが起源の主張の特徴の一つだ。これが日本軍になつたりするが内容は変わらない。主役が変わる位である。

そうしてその豊臣秀吉がなのだ。いつもしたとこりのだ。

「我が國の民衆を殺戮する為に持ち去つたのだ」

戦に使えるからだとかそうではない。彼等の國の民衆を殺戮する為にだというのだ。しかも武道を持ち去つたというのである。おまけに話はさらによくのだった。

「嘉納治五郎が完成させた」

日本人はここだけは眞実とみなせる。だがここからはそうではなかつた。

「その日本の柔道家により百万人の我が国の民衆が殺戮されたのだ」
この話を聞いてだ。日本人のある若者達がこう話しあつた。

第一章

「柔道で百万か。御先祖様達って本当に凄いな」

「ああ、人間の強さじゃないだろ」

「聖域にいるのか何かの拳法の伝承者じゃないのか?」

「それか野菜人かな」

そうした存在ではないかと話される。そしてその嘉納治五郎はだ。

「凄く強かつたんだな」

「見直したよ。っていうか絶対に人間じゃないな」

「あれだろ? 身長は一メートルを優に超えていて」

嘉納治五郎は身長一メートル六十にも満たなかつた。

「それで全身から黒いオーラを常に放っていてシリエットになつていて常人じやとても真の姿を拝めなくて目は真っ赤に光つてゐる」

「一睨みで人を殺せる位だよな」

「小指一本で十人位殺したんだろうな」

「凄過ぎるよな」

こうしてだ。嘉納治五郎は完全に史上最凶最悪の魔闘家となつたのである。彼は生前は柔道の創始者である以上に高潔かつ人の心を解する教育者であつた。だがその彼がこうなつてしまつた。これは喜ぶべきであろうか。その人間とは思えなくなつた戦前の柔道家達共々だ。彼等の國の人達の主張によつてそうした存在になつたことをここに記しておく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7502s/>

最凶最悪の魔闘家

2011年10月3日00時07分発行